

## 外国語「英語理解」(国際人文科) シラバス

科目名	単位数	学年	履修	対象学科
英語理解	4単位	2学年	必修	国際人文科

### 1. コミュニケーション英語 II の目標及び概要

英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。また、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深める。

### 2. コミュニケーション英語 II の到達目標

- (1) 事物に関する紹介や対話などを聞いて情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- (2) 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。
- (3) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- (4) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

### 3. 成績評価の方法

- (1) 定期考査 70% (中間考査・期末考査)
- (2) その他のテスト 20% (英語 100 問テスト、文法テスト、単語テスト、小テスト)
- (3) 授業態度・提出物 10% (授業参加度、発表、レポート、予習・復習ノート、課題)

### 4. 使用教材

- (1) 教科書名: NEW ONE WORLD Communication II Revised Edition (教育出版)
- (2) 副読本: ①NEW ONE WORLD Communication II Revised Edition 予習・復習ノート (教育出版)  
②スクランブル英文法・語法 Basic (旺文社)
- (3) 辞典: 指定なし (各個人で購入した物)

### 5. 授業の形態

1 クラスの一斉授業

### 6. 学習方法

- (1) 予習: ①新出語句・重要語句など内容理解の上でポイントとなる語句を辞書を引いて調べる。  
②何度か本文に目を通し、大まかな文脈をつかむ。  
③理解できている箇所とそうでない箇所を明確にして授業に臨む。
- (2) 授業: ①新出語句の発音練習の徹底、重要構文・文型・文法事項、さらに本文全体の内容を把握する。  
②本文の音読と聞き取りができるようにする。  
③予習・復習ノートを解き、既習事項の内容理解を深める。  
④文法力を養うため、スクランブル英文法・語法 Basic を参照しながら文法事項の学習を進める。
- (3) 復習: ①授業で使ったプリントや予習・復習ノートおよび教科書で学んだことを整理し、理解を深める。

### 7. 履修上の注意点

- (1) スクランブル英文法・語法 Basic の練習プリントが週末課題となっているので、きちんとやって期限内に提出する。
- (2) ファイルを用意し、授業で配布されたプリントを必ず綴る
- (3) 予習・復習ノートは英語テスト終了日に提出する。
- (4) 英検準 2 級の取得を目指しており、それに対応できる文法力および語彙力の習得を目標にしている。
- (5) 辞典を持参して授業を受ける。

### 評価の観点および内容

1 関心・意欲・態度	2 外国語表現の能力	3 外国語理解の能力	4 言語や文化についての知識・理解
・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えているか。	・英語を聞いたり読んだりして、その概要や要点をとらえ、情報や考えなどを的確に理解しているか。	・英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。

### 授業計画

学期	月	時数	単元	学習内容	重点(指導)目標	評価の観点				評価方法
						1	2	3	4	
1 学期	4 月	1	リエンション	・授業の進め方と評価方法	・授業の進め方と評価方法を理解できる。					・授業での取り組み ・課題等の提出状況 ・小テストや確認問題
		9	Lesson 1 Ambassador of World Peace	・だれもが 1 度は行って、見てみたいと思う場所や風景の紹介を通し、英語の有用性に触れ、英語学習のモチベーションを高める。 ・5 文型と to 不定詞を復習する。 ・場所や人物についての情報をやり取りし、それを相手に伝えたり発表したりする。	・世界の絶景数カ所の紹介を通して英語の有用性に触れ、英語学習の動機付けを行う。 ・5 文型と to 不定詞の定着を図る。 ・場所や人物についての情報をやり取りし、それを積極的に相手に伝えたり発表できる。	○	○	○	○	
	5 月	10	Lesson 2 Dogs as Human Companions	・日本人の食生活に触れ、世界や日本におけるバンの歴史を理解する。 ・比較表現(比較級、原級比較)、受け身、進行形の復習し、応用表現も学ぶ。 ・興味や関心のある事柄について話し合い、意見の交換を行う。	・日本人の食生活に触れた英文を読み、世界や日本におけるバンの歴史が理解できる。 ・比較表現(比較級、原級比較)、受け身、進行形の定着を図る。 ・興味や関心のある事柄について話し合い、意見の交換を行うことができる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・課題等の提出状況 ・小テストや確認問題
	6 月	10	Lesson 3 The Past, Present and Future of Umbrellas	・猫の生態に関する英文を読み、猫の持つ様々な特徴を理解する。 ・動名詞、SVO(=that 節)、分詞の形容詞としての用法を理解する。 ・読んだり調べたりした情報や考えを聞き手に適切に伝える。	・猫の生態に関する英文を読み、猫の持つ様々な特徴が理解できる。 ・動名詞、SVO(=that 節)、分詞の形容詞としての用法の定着を図る。 ・読んだり調べたりした情報や考えを聞き手に適切に伝えることができる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・課題等の提出状況 ・小テストや確認問題
1 学期 中間 考 査										

